

平成30年度定期協議会の開催

テロ対策「彩の国」ネットワーク
平成30年度定期協議会

〈4月27日 於:埼玉県県民健康センター〉

地下鉄サリン事件に学ぶ
事業者、市民と共にテロ対策を考える
20年の研究成果をあなたに

(公財)日本中毒情報センター
メディカル・ディレクター
奥村 徹



☆☆ 講演内容 ☆☆

- テロはいつどこで起こるかわからない。市民の目でテロを見つけ警察等に通報を
 - 事件・事故の早期の覚知（英国のステップ1-2-3法：1人が倒れたら通常対応、2人倒れたらテロを疑い、3人倒れたらテロ対応開始）
 - 避難のために簡易呼吸防護具（マスク）の導入を検討すべき、せめて防塵マスクの導入を
 - 現地調整所に焦点を当てた図上訓練を繰り返し実施し、顔の見える関係構築を
- *最低限の共有内容（安全・危険情報、避難情報、広報）

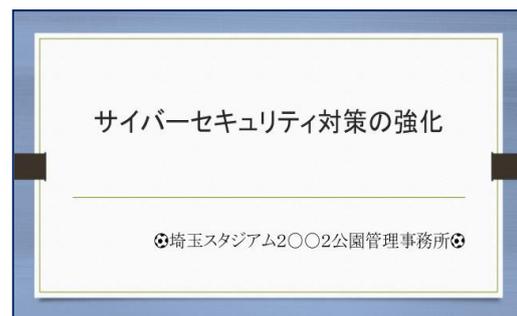


(公財)日本中毒情報センター
メディカル・ディレクター
奥村 徹氏

【事業者の方よりテロ対策の取組について報告をしていただきました】



〈テロ対処訓練の実施・埼玉高速鉄道（株）様〉



〈サイバーセキュリティ対策の強化・埼玉スタジアム2002公園管理事務所様〉



〈テロ防止対策・（株）さいたまアリーナ様〉

「ソフトターゲットにおけるテロ対策のベストプラクティス」

政府の国際組織犯罪等・国際テロ対策推進本部が首相官邸のホームページで公開している「ソフトターゲットにおけるテロ対策ベストプラクティス」を参考にテロ対策と構えることなく、一般防犯対策の延長として可能なことから取組をお願いします。

多数のご参加ありがとうございました

